

いきごみ通信

第6号 2009年12月24日
江戸川区生ごみ堆肥化実践クラブ
〒132-0033 江戸川区東小松川3-35-13-204
電話・F a x 03-3655-1387
ホームページ : <http://www.ikigomi.jp/>

『楽しい生ごみ堆肥作り』秋の講習会が終了しました



タワーホール船堀 全体会

2009年秋の講習会は11月19日グリーンパレス、11月28日タワーホール船堀に於いて第3回の講座を開催、今年度の全日程を終了しました。両会場とも大変出席率がよく熱気にあふれ、生ごみの堆肥化は、参加された皆さまの生活の一部になっていることが感じられました。春秋合わせて138名の申し込みがあり、2回以上受講した修了者は90名。これまでの修了者合計は475名となり、生ごみ堆肥作りの輪は少しずつ広がってきています。

グリーンパレス会場では10月8日に予定していた第2回の講習会が台風18号のため急遽中止、11月19日に第2・第3回の講習内容をまとめて行いました。9月10日の第1回講習会の後11月まで、堆肥作りは順調に進んでいるかどうか気がかりでしたが、お持ちいただいた熟成中の堆肥は悪臭などもなくよく出来ていました。初回の講習会で、米ぬかのほかに種堆肥を差し上げるようになってから今年で3年、初めての方も堆肥化が順調に進むようになったのではないかと感じています。「堆肥作りは楽しい」という声もたくさん聞かれました。来春には完熟した堆肥を使って花や野菜を育て、生ごみリサイクルを楽しんでいただきたいと思います。

タワーホール船堀会場の第3回全体会では、実験菜園の活動や、会員が堆肥を利用して野菜や花を育てている様子を写真パネルにして、『堆肥作りのポイントと活用』として紙芝居形式で紹介しました。その中で米袋利用の大根作りについては分科会でも質問があり、育てた会員が詳しい説明をすると、是非やってみたく早くも出来た堆肥の利用を楽しみにしている方もありました。

分科会では

- * 発泡箱の中の微生物を『ビーちゃん』と呼んで大切にしています。
- * 第2回のジッパー袋を使った講習を休みましたので教えて下さい。
- * ジッパー袋の代わりにレジ袋を使った方法でやっています。
- * 1回目の箱に水が入りだめかと思ったが、天日にさらし、それを種堆肥として2回目に使ってみたのがこの堆肥です。とよく出来た堆肥を見せて下さる等々、時に笑いがおこり自宅での堆肥作りの様子が伝わってくる講習会でした。



グリーンパレス 分科会

実験菜園の活動

12月12日（土）給食の生ごみ5日分をいただいて堆肥作りをしました。

12日の作業はヤーコンやサツマイモなどの収穫と給食の生ごみを使った堆肥作り。前日の冷たい雨が上がり気温18度と暖かな日差



しの中で、9名の菜園メンバーが芋掘りや草むしり、堆肥作りなどを行いました。このところ数年間畑として使われることがほとんどなかった菜園の端の幅1mほどの

部分もお借りして耕すことになり、面積がかなり広がったように感じています。木の下で日陰になる時間が長い場所ですが、土作りをして野菜を育ててみたいと思います。

菜園の作業は力仕事も多くありますが、今回から男性2名がメンバーに加わり作業がはかどりました。これから春まで、堆肥の切り

返しをしながら、土作りをしていきます。

第六葛西小学校の菜園の一部をお



この食パンを、堆肥にする以外に使い道はないのでしょうか。

土、米ぬか、くん炭とよく混ぜて菜園周辺の枯れ草を上に乗せました。最後に雨が入らないようにブルーシートをかけて、熟成中です。（詳細はホームページに掲載中）

借りしてから7年目、給食の生ごみをいただいての堆肥作りも4回目となりました。農薬や化学肥料を使わない菜園はミミズがたくさん棲むふかふかの土になって、これまでに葉物から根菜まで20種類以上の野菜を栽培してきました。今年の夏は、給食の生ごみから発芽したカボチャが菜園のフェンスの上、見上げる高さに実をつけて近隣の方々の評判にもなりました。とはいえ、生ごみ堆肥作りについては自信を持っているメンバーも、野菜を育てるとなると分からないことが多く、試行錯誤の野菜作りをしています。

給食の生ごみを使った堆肥作りは、学校側の協力がなければできません。生ごみを5日間も溜めていただくのは大変なことで、校長先生はじめ栄養士の先生、主事さんにも大変お世話になりました。菜園を担当している会員は現在11名。バスを乗り継いで参加して下さる方もいます。できた堆肥で野菜や花がどのように成長していくのか、また、来年はどんな種をまきましようかと楽しみが広がる菜園です。

ヤーコンとサツマイモの収穫

ヤーコンは3年の連作、サツマイモは植え付けが7月末になってしまうなどの影響で、大きなイモにはなりませんでしたが、忘年会で試食していただきました。



ヤーコン



サツマイモ

12月17日定例会、終了後忘年会を行いました

事務所に専用の電話が入りました。電話・FAX 03-3655-1387

定例会 13:00~15:00

12月17日、25名が出席して定例会を行い、来年2月に行う生ごみ堆肥の先進地見学バスツアーや、講習会テキストの改訂などについて話し合いました。詳細は12月例会報告をご覧ください。

事務所に机を置き、専用のFAXが入りました。パソコンは現在荒川クリーンエイドよりお借りしていますが、10年ほど前のもので、新しいFaxに接続できない、USBメモリやSDカードを読み込めないなどの不調があるため、クラブの備品としてパソコンを購入することが了承されました。



例会風景

2009 忘年会

毎年恒例となっている一品持ち寄りの忘年会、普段の活動にはあまり参加できない方も、この日ばかりはと駆けつけて下さいまして、用意した椅子が足りなくなるほどの大盛況でした。

秋の講習会で入会された新入会員にとっては、はじめての例会、いきなりの宴会となりましたが、居心地が良かったとのメールをいただきました。和やかなクラブの雰囲気を、心地よく感じていただけたものと思います。



かんぱ〜い 今回参加できなかった方も、次回懇親会には是非ご参加ください。



柚子は植木鉢、青梗菜はプランター栽培

テーブルには会員が持参した料理や、果物、お菓子、果実酒などがぎっしりと並び、『乾杯!』の声とともに始まった忘年会は賑やかに和やかに進みました。宴の中盤には腹話術人形のフィリップ君も登場、さらには会員が植木鉢やプランターで育てた採りたての柚子(12個)や青梗菜(6株)をじゃんけんでプレゼントする、というゲームもあり最後まで盛り上がりました。

特集 私の菜園 2

会員から寄せられた生ごみリサイクルの楽しみを紹介する特集の第2回です。今回は屋根の上でアンテナに絡まり実をつけている珍しいヘチマとハヤトウリ、それに集合住宅高層階でのベランダ菜園をご紹介します。



ここは屋根の上、なんとも不思議な風景です。
右下はハヤトウリの拡大写真。

2本ずつ植えたというヘチマとハヤトウリ。古いテレビアンテナと太陽熱温水器を支える針金に絡みついてます。2本ずつ植えて、収穫はヘチマが20本、ハヤトウリは30個。肥料は生ごみ堆肥だけとのことです。ヘチマはたわしにするほか、ヘチマ水を作っています。写真はヘチマ水の採集中。ビニールをかぶせて、雨が入らないようにしています。ハヤトウリも同じように液を採集して、ハヤトウリ水を作りましたが、ヘチマ水のような美肌効果があるのかどうか、採集したご本人も不明とのことです。



ベランダ菜園の楽しみ



肥料は生魚も入れた完熟堆肥とみみず糞

昨年会員から実践報告をいただいた米袋利用の大根栽培、講習会で紹介して評判になりましたが、この冬は集合住宅10階のベランダでも、米袋を栽培容器にして4本の大根が大きく育ちました。強風を避けて、ベランダの隅の陽だまりになる場所が大根の定位置。10月にはアブラムシが発生しましたが広がる前にゴム手袋をかけて潰し、水で流しました。忘年会で皆さまに試食していただき、味も保証済みです。その他には、小松菜、菜花、葉大根、ブロッコリー、人参などを育て、楽しんでます。

小松菜



***2月17日(水) 生ごみ堆肥の先進地見学バスツアーがあります。**

現在会員の皆様の募集を行っています。

普段の活動にはなかなか参加できない方も、この機会にぜひ一緒しましょう。

***募集しています**

いきごみ通信やホームページに写真や記事をお寄せ下さい。

会員の皆様は、自分流の堆肥作りを確立されていることと思いますので、その方法を写真や短い説明文を添えて事務局にお寄せ下さい。生ごみ堆肥で育てている野菜やお花の写真などもお待ちしております。